

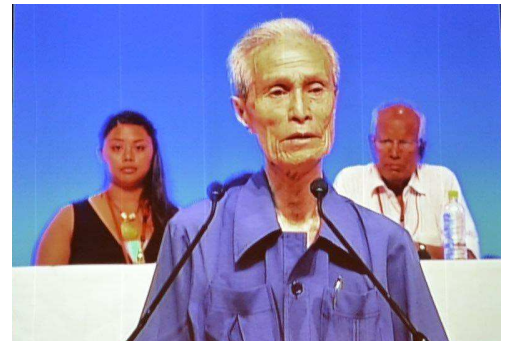
20 数年ぶりの世界大会

高橋 繁

20 数年ぶりの世界大会でした。その時に壇上でお話ししてくれた渡辺千恵子さんはもう亡くなられ、今回は合唱組曲「平和の旅へ」で紹介されました。国連総会で「ノーモア、ヒバクシャ」と訴えた山口仙二さんも一昨年亡くなっています。「私の生きているうちに、20 世紀のうちに、核廃絶を！」というたくさんの被爆者の方の声を何度も聞いたことを思い出しました。

今回、谷口稜暉（すみてる）さんが壇上から、「私は戦争につながる戦争法案は絶対に許せません。核兵器のない世界の実現のため、命ある限り原爆被害の実相を世界中に語り続けます」と訴える姿に感動しました。

谷口さんは、16 歳の時に被爆し熱線で背中を焼かれ 1 年 6 ヶ月もの間うつぶせのまま入院された体験を持つ方で、渡辺さんや山口さんたちとともに第 1 回の世界大会の頃から活動されている方です。もう 60 年も経ちます。



▲ 谷口稜暉さん

『「ピース・フロム・ナガサキ」。平和は長崎から。私たちはこの言葉を大切に守りながら、平和の種を蒔き続けます』と、田上富久長崎市長が話していました。



同じ言葉を爆心地近くの 2 つの小学校で見つけました。「ピース・フロム・シロヤマ」「ピース・フロム・ヤマザト」平和学習がしっかり根付いていました。教育にかかわるものとして「ピース・フロム・マチダ」「ピース・フロム・〇〇中」と発信できるようがんばっていきたいという思いを新たにしました。

今年の世界大会は「戦争法案」反対、核兵器なくそうの決意いっぱい

東京原水協事務局

世界大会の総会及び分科会では、北海道から沖縄まで若者が「戦争法案」絶対反対を周りの人々に呼びかけ運動が広がっていることが生き生きと語られました。高知の大学では、「『戦争法案』反対を1回目に呼びかけたらデモに30人参加。次にもっと呼びかけたら300人が参加。呼びかけた方がビックリ」。愛知では、「自民党の議員会館に『戦争法案』賛成なら、次の選挙は落ちるよ」と話しに行った。各地で若者が自分の未来のために「戦争法案」に反対していることにベテランの参加者は感激していました。インドの代表は、「ガンジーは、原爆投下は暴力だと言った。究極の暴力が核兵器だ。日本で憲法9条を壊す動きが強まっている。憲法9条を守ることは、世界全体の平和を守るたたかいでもある。世界の国々は、日本の9条の精神を取り入れた憲法をつくるべきだと考えている」と語りました。

世界大会の決意を持って、「戦争法案」廃案めざして運動を強めましょう。